

令和4年度業務実績報告書

提出日 2023年1月12日

1. 職名・氏名 教授 鄭 海東

2. 学位 学位 博士、専門分野 経済学、授与機関 京都大学、授与年月 1995年7月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名(単位数)	主たる配当年次等
経済の国際化と中国(4単位・隔年開講)	大学院1・2年生
②内容・ねらい	
GATT/WTO等の戦後の国際ルールの枠組みを解説した上で、1980年代以来の中国の対外開放政策の目標と結果を検討して、急速な経済の国際化が中国経済にもたらす影響を分析する。さらに、2018年以降の中米経済戦争およびかつての日米貿易摩擦の事例を踏まえ、中心国・アメリカが世界経済の地殻変動に面した際のビヘイビアを国際ルールの見地から検討することに力を入れる。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	
講義内容への理解を深めてもらうために、一方的に話すではなく、受講生に質問したり、話しかけたりすることに心がけて講義を進行する。 また、一線で活躍している学外の専門家をゲスト・スピーカーに招いて最新の知識や動向を知ってもらう。	
①担当科目名(単位数)	主たる配当年次等
中国経済特論(2単位・隔年開講)	大学院1・2年生
②内容・ねらい	
中国経済の現状に対する表層的な解説でなく、「改革前」と「改革後」の経済政策との比較を通じて、より歴史的・複眼的に中国の経済成長の原因と問題点を理解することを目指す。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	
(隔年開講のため、令和4年度は不開講)	
①担当科目名(単位数)	主たる配当年次等
世界経済論(2単位・毎年開講)	学部2年生
②内容・ねらい	
まず国際金融と国際貿易の両側面から世界経済の基本的な形を概観する。それから、世界経済の動きの中で、重要な出来事などの動態を紹介・解説する。これらの歴史と現実の考察を通して、世界経済の見る目を養う。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	
学生の知識源はかなりマスメディアに依存している現状を意識して、ホットの話題から例を挙げ、「社会通念」の問題点とそれを生み出す時代背景を考えてもらう。	
①担当科目名(単位数)	主たる配当年次等
演習Ⅰ・経済の国際化と中国(4単位・毎年開講)	3年生
②内容・ねらい	
急成長に伴う中国の世界における存在感が増大する中、中国経済が世界経済との関わり方、中国経済自身の問題点をより客観的に観察・分析する。 学生の基礎学力と教育の必要性から、範囲は中国経済に限定せず、必要に応じて日本経済を含む世界経済の諸様相を話題に取り入れて学習・議論してもらう。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	
学生の知識源の現状から、「世論」や「通念」と世の中の現実とのギャップをよく教えてくれるテキストを採用した。	

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅱ・経済の国際化と中国（4単位・毎年開講） 4年生
②内容・ねらい 中国経済の発展や直面する問題を一層よく理解してもらうために、演習Ⅰでの学習を踏まえて、検討の対象を経済風土、企業文化に広げ、より広角的な視野で経済現象を考察する。 卒論の指導を行う。広く経済問題を考えてもらうため、テーマは、中国経済に限定しない。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 なるべく国際比較的事例を挙げてテキストの内容を理解してもらう。 また、卒論作成をスムーズに運ぶよう、論文の進捗をこまめにチェックし、中間発表をよくしてもらった。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 外書講読Ⅱ（2単位・毎年開講） 2年生
②内容・ねらい 中国語の経済・社会関連の文献を読むことを通して、語学と経済学さらに中国の歴史・文化や社会への理解を高める。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 一部の学生の中国語基礎があまりないことに悩みながら、その学習意欲を削がないように留意を払った。
(2) その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①著書
②学術論文（査読あり）
③その他論文（査読なし）
④学会発表等
⑤その他の公表実績 学会報告コメント（約 5,000 字） 『国際経済 第 74 巻』日本国際経済学会編、日本国際経済学会研究年報 2022、54～58 頁。
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】
【学内】
(3)特許等取得
(4)学会活動等

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会
② 国・地方公共団体等の調査受託等
③ (公益性の強い) NPO・NGO 法人への参加
④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での) 企業等での活動
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開催 開放講座：「自由貿易のルールを考える」 場 所：三国高校 日 時：7月11日
⑦その他

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
経済・経営学研究科 教務委員 2021.4～現在に至る 『福井県立大学経済経営研究』編集委員長 2022.4～
(3)学内行事への参加
研究科の入試ガイダンスを数回行った。
(4)その他、自発的活動など